

言語学コロキウム

文法と語用論の間

カリフォルニア大学バークレー校の長谷川葉子先生を招いて、文法と語用論の関係に関する研究会を下記のとおり開催いたします。多くの方のご来聴を歓迎いたします。

日 時： 10月15日（木）

午後1時45分から午後5時30分

場 所： 人文社会学系棟 1階 A101

発表者・発表題目：

長谷川 葉子（カリフォルニア大学バークレー校）

「話すということ」

本多 正敏・五十嵐 啓太（筑波大学大学院）

「感嘆文に慣習化された対人機能：what-a 感嘆文を中心に」

加賀 信広（筑波大学）

「日本語受動文の統語構造について一意味役割理論を踏まえた分析」

本研究会は科研費基盤研究（B）「文法と語用論の関係に関する日英語対照研究」による。 問い合わせ先：廣瀬幸生（hirose.yukio.ft@u.tsukuba.ac.jp）